

てんさい・ばれいしょの
害虫防除に

ベジホコ[®] 乳剤

やっぱり



カメノコハムシ



ヨトウムシ

ばれいしょの
ナスノミハムシにも!



カメノコハムシに卓効!!
ヨトウムシ防除は発生状況により
1,000~2,000倍!

てんさい ▶ ヨトウムシ・カメノコハムシ
ばれいしょ ▶ アブラムシ類・ナスノミハムシ

(ジャガイモヒゲナガ・モモアカ・ワタアブラムシ)

特 長

1 幅広い殺虫スペクトラム

てんさい、ばれいしょ、たばこに発生する重要害虫に
対し高い効果を発揮します。

2 優れた殺虫力と速効性

優れた殺虫力と速効性により、散布直後から害虫の
落下仰転（ノックダウン）、潜伏場所からの飛び出し
（フラッシュアウト）などの症状が見られます。

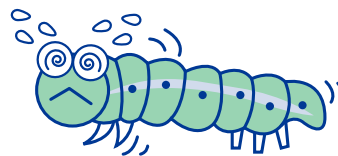
3 優れた残効性

高い殺虫活性と耐光、耐雨性により、優れた残効性
を示します。従来の薬剤より少ない散布回数で効
果を発揮するので省力化に有効です。

4 総合的な作用特性

フェンバレート、ジメトエートそれぞれのもつ特性が
総合的に作用します（接触毒、食毒、浸透移行性）。

5 特異な忌避作用

特異な忌避作用（接触阻害、寄生阻害、産卵抑制）
が害虫の被害防止に効果を発揮します。

ベジホン乳剤のカメノコハムシ幼虫に対する効果

＜社内試験(H8年)＞

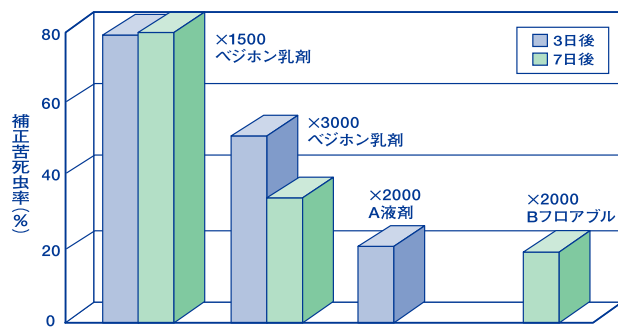
- 供 試 虫…カメノコハムシ若・中令幼虫
- 試験方法…食葉浸漬法（てんさい）
- 区 制…1区10頭 3反復

＜7月26日処理＞

薬 剤	希釈倍数 (倍)	苦死虫率(%)		補正苦死虫率(%)		食害度 3日後
		3日後	7日後	3日後	7日後	
ベジホン乳剤	×1500	83.3	90.0	79.1	80.0	1.00
ベジホン乳剤	×3000	60.0	66.7	50.0	33.4	1.33
A液剤	×2000	36.7	46.7	20.9	0.0	2.00
無処理		20.0	50.0	0.0	0.0	4.00

＜8月1日処理＞

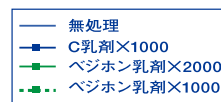
薬 剤	希釈倍数 (倍)	苦死虫率(%)		補正苦死虫率(%)		食害度 3日後
		3日後	7日後	3日後	7日後	
Bフロアブル	×2000	36.7	66.7	0.0	20.1	3.33
無処理		36.7	58.3	0.0	0.0	2.33



ベジホン乳剤のヨトウムシ（てんさい）に対する効果

＜道立中央農業試験場(S54年)＞

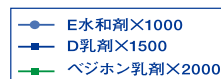
- 散 布 日…6月29日、7月6日の2回、
100ℓ/10a散布
- 耕種概要…品種「モノドリ」、
播種4月2日、
移植5月2日
- 区 制…1区18m² 3反復



ベジホン乳剤のアブラムシ類（ばれいしょ）に対する効果

＜道立北見農業試験場(S59年)＞

- 散 布 日…8月14日、
120ℓ/10a散布
- 耕種概要…品種「紅丸」、播種5月18日
- 区 制…1区18m² 3反復

適用害虫と
使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10a当りの使用液量	使用時期	総使用回数※
てんさい	ヨ ト ウ ム シ	1000～2000倍	100～300ℓ	収穫21日前まで	4回以内
	カメノコハムシ	400倍※※	25ℓ		
ばれいしょ	アブラムシ類	1000倍	100～300ℓ	収穫30日前まで	2回以内
	ナスノミハムシ	1000倍			

※本剤およびジメトエート、フェンバレートを含む農薬の総使用回数

使い方：散布

※※400倍散布の場合は、少量散布に適したノズルを装着した乗用型の地上液剤散布装置を使用してください。平成27年2月末日現在の登録内容
★たばこにも登録があります。

使用上の注意事項 [抜粋]

- 石灰硫黄合剤、ボルドー液等アルカリ性薬剤との混用はさけてください。
- 幼苗期に使用すると、展開葉に黄化などの薬害を生ずることがあるので、この時期は所定範囲内の低濃度で散布してください。
- うめ、さくら、ばらなどには、薬害の生ずるおそれがあるのでからさないよう注意して散布してください。
- 室に長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、付近の葉に付着するおそれのある場所では使用しないでください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。①ミツバチの巣箱及びその周辺にかけられないようにしてください。②養蜂が行われている地区では周辺への飛散に注意する等、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 自動車、壁などの塗装面、大理石、御影石に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないよう注意してください。
- 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合にはできるだけ病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

とくに魚毒については次のことをお守りください。



- 水産動植物（魚類）に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池周辺での使用はさけてください。
- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空容器は圃場内等に放置せず適切に処理してください。